

学校プロフィール

学校名（ 鈴鹿市立白子小学校 ）

【平成 31年 4月】

1. 目指す学校像について

項目	内容
(1) 目指す学校像	わかる授業！友だちいっぱい！今日も来てよかったと思える白子小学校！
(2) ありたい姿(実現したい学校の状態)	<ul style="list-style-type: none"> ○学び合いを中心とした日々の教科研修・教材準備に力を入れ、分かる授業の積み重ねによる確かな学力の保障 ○人権教育の充実および支援会議のとりのくみを中心とした特別支援教育 ○健康な体と未来を拓こうとするたくましく優しい心をそなえた児童の育成 ○善悪の区別ができ、豊かな人間関係を築ける児童の育成 ○児童が安全に安心して学習できるゆとりある学校・教育環境整備 ○地域との深い交流のもと、地域人材を生かした充実した地域・キャリア学習 ○児童・教職員・保護者・地域がひとつになった開かれた学校

2. 現状の認識について

(1) 「価値」を提供する相手方		
① 相手方の区分	②現在の要求・期待	
児童	○よくわかり楽しい授業 ○安全で安心な学校 ○自分の思いを表現できる、いじめのないあたたかい学校	
保護者	○学力の保障および向上 ○いじめのない楽しい学校 ○健康安全教育の充実 ○学校・保護者間の密な連絡 ○安全で安心できる教育環境	
地域	○学校からの情報提供の充実 ○施設の開放 ○地域に根ざした教育の実践(伊勢型紙, 鈴鹿墨等) ○地域行事への参加 ○敷居の低い学校	
(2) パートナー		
①パートナーの区分	②パートナーからの要望・期待	③パートナーへの要望・期待
保護者	上記, 保護者からの要望どおり	活発で充実した組織づくり
地域	上記, 地域からの要望どおり	現状の維持およびさらに緊密な連携
教育委員会, 関係機関	特色ある教育活動	ソフト面ハード面の支援
中学校区の保幼小中	緊密な情報交換および連携の充実	緊密な情報交換および連携の充実
(3) 組織の現状	<ul style="list-style-type: none"> ○何事にも一生懸命取り組む素直な子どもたちであり、人間関係も安定している。 ○正規職員の他、7名の非常勤講師、3名の介助員、支援員とスクールライフサポーターが各1名配置されており、個に応じた指導を行っている。 ○PTA組織の現状: 伝統的に、自主的に運営できるようシステム化されている。 ○中学校区の校長で定期的に情報交換を行い、情報の共有や協力をしている。 	

3. 目指す学校像実現のための重要な視点(方針)について

(1) 重点化に向けた視点	<ul style="list-style-type: none"> ○児童一人ひとりの確かな学力を保障する。 ○基本的な生活習慣に基づいた生活指導を充実する。 ○教育活動全体を通じた人権教育を推進する。 ○特別支援教育を組織的に推進する。 ○様々な機会をとらえてキャリア教育を推進する。 ○安全で安心な教育環境整備と地域に開かれた教育を推進する。 ○自然災害に備え、地域と連携した避難訓練を実施する。
(2) 上記の背景・理由	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力学習状況調査の結果から基礎学力の定着に課題があること、児童、保護者のアンケート等の結果から児童の読書習慣・家庭学習習慣が定着していないこと、子ども達のコミュニケーション力の低下が見られること、教育実践におけるキャリア教育の視点が弱いこと、保護者・地域から防災・防犯について要望があることなど本年度重点的に取り組むべき課題が明らかになっている。